



2026年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年9月9日

東

上場会社名 株式会社ビューティガレージ

上場取引所

コード番号 3180

URL <https://www.beautygarage.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO

(氏名) 野村秀輝

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CAO

(氏名) 齋藤高広 (TEL) 03-6805-9785

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年4月期第1四半期の連結業績(2025年5月1日～2025年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年4月期第1四半期	9,012	14.3	239	△23.9	242	△22.3	162	△33.3
2025年4月期第1四半期	7,881	9.8	315	△18.0	312	△21.1	244	△6.2

(注) 包括利益 2026年4月期第1四半期 174百万円(△28.9%) 2025年4月期第1四半期 246百万円(△8.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年4月期第1四半期	12.99	—
2025年4月期第1四半期	19.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年4月期第1四半期	16,393	7,934	46.9
2025年4月期	16,257	7,865	46.9

(参考) 自己資本 2026年4月期第1四半期 7,690百万円 2025年4月期 7,628百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年4月期	—	7.00	—	8.00	15.00
2026年4月期	—	—	—	—	—
2026年4月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年4月期の連結業績予想(2025年5月1日～2026年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,299	13.1	784	21.1	776	19.0	577	30.7	45.85
通期	38,080	12.9	1,841	15.5	1,830	15.5	1,291	26.7	102.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ー社(社名)ー、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 当第1四半期連結累計期間より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、四半期決算短信【添付資料】8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年4月期1Q	12,752,000株	2025年4月期	12,752,000株
2026年4月期1Q	216,352株	2025年4月期	216,352株
2026年4月期1Q	12,535,648株	2025年4月期1Q	12,650,486株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無

監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善、インバウンド需要の拡大、大阪・関西万博の開催による各種需要喚起等もあり、緩やかな回復傾向が続いております。一方で米国による関税政策の影響、不安定な国際情勢、米をはじめとした各種物価高の継続等先行きが不透明な状況も散見されております。

美容サロン業界におきましては、値上げ浸透による顧客単価上昇やサービス強化により売上増を実現するサロンがある一方で、引き続き各種仕入れコストの上昇、慢性的な人手不足に苦しむサロンも多く、厳しい状況となっております。

そのような状況下、当社グループでは既に開示しております新中期経営計画2025-2029にもとづいて、新物流拠点（柏FC）の稼働を一部開始する等、各種成長戦略の実現に向けて積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は9,012,333千円（前年同期比14.3%増）、売上総利益は2,171,336千円（前年同期比8.8%増）、営業利益は239,825千円（前年同期比23.9%減）、経常利益は242,688千円（前年同期比22.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は162,878千円（前年同期比33.3%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①物販事業

物販事業におきましては、インターネット通販サイト「BEAUTYGARAGE Online Shop」、全国主要都市のショールーム&ストア+法人営業チーム、および各グループ会社を通して、理美容機器や化粧品・消耗品等のプロ向け美容商材を、国内外の理美容室、エステサロン、リラクゼーションサロン、ネイルサロン、アイラッシュサロン等のいわゆる美容サロン向けに提供しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、商品ラインナップの拡充とECサイトの更なる進化・改善に努めるとともに、業界内で圧倒的な競争力を持つ物流力を確立するための新物流拠点の稼働を一部開始しました。現時点では既存の関東の物流拠点（柏DC）との並行稼働の時期となっているため、人件費やマテハン設備の減価償却の開始等コストが先行しておりますが、第2四半期期間中にはオートメーション化された新物流拠点（柏FC）に一本化するべく鋭意準備を進めております。

この結果、物販事業全体としての売上高は7,569,720千円（前年同期比11.1%増）、セグメント利益は233,978千円（前年同期比26.7%減）となりました。

②店舗設計事業

店舗設計事業におきましては、連結子会社である株式会社タフデザインプロダクトにより東京・金沢・名古屋・大阪・福岡の五拠点において店舗設計・工事施工管理を提供しております。トレンドを捉えたデザイン性の高い店舗設計の提案を行うことで独立開業を目指す顧客から高い支持を得ており、新規開業顧客に加えて、大手チェーン店本部からの受注も獲得してまいりました。

当第1四半期連結累計期間におきましては、クリニック案件の獲得が進み、受託案件数を伸ばすと共に、平均案件単価を押し上げることが出来ました。一方で追加工事の発生等による不採算案件もあり、材料費や加工費が上振れる結果となりました。

この結果、当事業の売上高は770,680千円（前年同期比49.3%増）、セグメント損失は5,458千円（前年同期は11,800千円のセグメント損失）となりました。

③ソリューション事業（当第1四半期連結会計期間から事業呼称がその他周辺ソリューション事業より変更となりました。）

ソリューション事業におきましては、ビューティサロンの開業と経営に必要なサポートとして、開業プロデュース、居抜き物件仲介、決済支援、集客支援、講習・アカデミー、損害保険、システム導入支援、店舗リース、M&A仲介、提携ビジネスカード、低コスト電力の供給、マーケティング支援サービス等の各種ソリューションサービスを、専門WEBサイトと全国主要都市のショールームと法人営業部隊、各グループ会社を通して提供しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、店舗リース、提携ビジネスカード、損害保険等が堅調に伸長しましたが、中計に記した「店舗大家No.1企業」実現に向けた営業体制強化のための人員増によって、販売管理費も増加致しました。この結果、当事業の売上高は671,933千円（前年同期比22.0%増）、セグメント利益は57,508千円（前年同期比12.2%減）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて12.0%減少し、11,519,409千円となりました。これは、主に現金及び預金、売上債権の減少があったことによるものであります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べて54.0%増加し、4,874,511千円となりました。これは、主に新物流拠点の開設に係る有形固定資産の増加があったことによるものであります。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて11.2%減少し、5,687,971千円となりました。これは、主に仕入債務及び未払法人税等の減少によるものであります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べて39.6%増加し、2,771,166千円となりました。これは、主に長期借入金の増加によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて0.9%増加し、7,934,782千円となりました。これは、主に配当金の支払に伴い利益剰余金の減少100,285千円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金の増加162,878千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月9日に公表いたしました通期の連結業績予想の修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,448,634	3,584,724
受取手形及び売掛金	3,616,206	3,163,954
リース投資資産	293,177	347,755
営業投資有価証券	172,158	135,038
商品及び製品	3,375,530	3,112,623
仕掛品	154,017	275,386
前渡金	263,060	195,700
その他	792,336	724,580
貸倒引当金	△21,935	△20,354
流動資産合計	13,093,186	11,519,409
固定資産		
有形固定資産	479,954	2,042,269
無形固定資産		
ソフトウェア	244,565	298,537
のれん	137,961	124,212
その他	50,559	3,710
無形固定資産合計	433,086	426,460
投資その他の資産	2,251,559	2,405,781
固定資産合計	3,164,600	4,874,511
資産合計	16,257,786	16,393,920

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,590,925	2,233,481
短期借入金	25,000	5,000
1年内返済予定の長期借入金	679,016	791,557
未払金	410,768	586,979
未払法人税等	426,417	116,027
前受金	867,130	742,646
契約負債	311,073	337,139
賞与引当金	90,517	200,919
製品保証引当金	10,918	10,573
受注損失引当金	1,763	10,614
株主優待引当金	3,900	4,875
その他	990,153	648,156
流動負債合計	6,407,584	5,687,971
固定負債		
長期借入金	1,440,461	2,165,235
退職給付に係る負債	35,172	35,430
資産除去債務	78,721	158,731
その他	430,168	411,770
固定負債合計	1,984,523	2,771,166
負債合計	8,392,107	8,459,138
純資産の部		
株主資本		
資本金	768,385	768,385
資本剰余金	818,498	818,498
利益剰余金	6,311,272	6,373,866
自己株式	△243,856	△243,856
株主資本合計	7,654,299	7,716,893
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△20,009	△19,512
為替換算調整勘定	△5,915	△6,677
その他の包括利益累計額合計	△25,925	△26,190
非支配株主持分	237,304	244,079
純資産合計	7,865,679	7,934,782
負債純資産合計	16,257,786	16,393,920

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年7月31日)
売上高	7,881,419	9,012,333
売上原価	5,886,154	6,840,997
売上総利益	1,995,264	2,171,336
販売費及び一般管理費	1,680,152	1,931,511
営業利益	315,112	239,825
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,861	1,913
為替差益	—	9,271
受取手数料	2,305	2,058
その他	653	849
営業外収益合計	4,820	14,092
営業外費用		
支払利息	2,468	6,242
持分法による投資損失	—	3,343
為替差損	4,014	—
その他	1,064	1,643
営業外費用合計	7,547	11,229
経常利益	312,385	242,688
特別利益		
段階取得に係る差益	—	900
特別利益合計	—	900
税金等調整前四半期純利益	312,385	243,588
法人税、住民税及び事業税	90,812	87,240
法人税等調整額	△25,701	△19,258
法人税等合計	65,110	67,982
四半期純利益	247,274	175,606
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,190	12,727
親会社株主に帰属する四半期純利益	244,083	162,878

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年7月31日)
四半期純利益	247,274	175,606
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,330	497
為替換算調整勘定	66	△1,264
四半期包括利益	246,010	174,839
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	242,763	162,613
非支配株主に係る四半期包括利益	3,247	12,225

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

従来、建物を除くその他の有形固定資産の減価償却方法について、当社及び国内連結子会社は定率法を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、定額法に変更しております。

当社グループは新たに策定された中期経営計画2025-2029の実現に向けて、新物流センターの開設準備を進めて参りました。これを契機に当社グループの減価償却方法について再検討した結果、当社グループの物販事業において今後、取引高は一定の成長率を維持しながらも、倉庫設備の稼働は概ね安定的に推移することが見込まれるため、有形固定資産の減価償却方法として定額法を採用することが費用配分の観点から合理的であり、経済実態をより適切に反映できると判断し、今回の変更を行うものであります。

この変更により従来の償却方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ31,099千円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物販事業	店舗設計事業	ソリューション事業	計		
売上高						
理美容機器・用品	2,462,073	—	—	2,462,073	—	2,462,073
化粧品等	4,230,909	—	—	4,230,909	—	4,230,909
金属スチール家具	121,156	—	—	121,156	—	121,156
その他	—	516,317	148,066	664,384	—	664,384
顧客との契約から生じる収益	6,814,139	516,317	148,066	7,478,523	—	7,478,523
その他の収益	—	—	402,895	402,895	—	402,895
外部顧客への売上高	6,814,139	516,317	550,962	7,881,419	—	7,881,419
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,980	33,365	2,583	39,929	△39,929	—
計	6,818,119	549,682	553,545	7,921,348	△39,929	7,881,419
セグメント利益又は損失(△)	319,287	△11,800	65,530	373,017	△57,905	315,112

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△57,905千円には、セグメント間取引消去2,457千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△60,362千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益は、企業会計基準第13号[リース取引に関する会計基準]に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年5月1日 至 2025年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物販事業	店舗設計事業	ソリューション事業	計		
売上高						
理美容機器・用品	2,541,349	—	—	2,541,349	—	2,541,349
化粧品等	4,916,985	—	—	4,916,985	—	4,916,985
金属スチール家具	111,385	—	—	111,385	—	111,385
その他	—	770,680	183,706	954,386	—	954,386
顧客との契約から生じる収益	7,569,720	770,680	183,706	8,524,107	—	8,524,107
その他の収益	—	—	488,226	488,226	—	488,226
外部顧客への売上高	7,569,720	770,680	671,933	9,012,333	—	9,012,333
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,626	50	3,076	9,752	△9,752	—
計	7,576,346	770,730	675,009	9,022,086	△9,752	9,012,333
セグメント利益又は損失(△)	233,978	△5,458	57,508	286,029	△46,203	239,825

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△46,203千円には、セグメント間取引消去17,643千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△63,847千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益は、企業会計基準第13号[リース取引に関する会計基準]に基づく賃貸収入等であります。

4. 当第1四半期連結会計期間より「その他周辺ソリューション事業」としていたセグメント名称を「ソリューション事業」に変更しております。当該名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。なお、前第1四半期連結累計期間の報告セグメントについても、変更後の名称で表示しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に記載のとおり、従来、建物を除くその他の有形固定資産の減価償却方法について、当社及び国内連結子会社は定率法を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、定額法に変更しております。

この変更により従来の償却方法に比べて、当第1四半期連結累計期間のセグメント利益が「物販事業」で31,099千円増加しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却費は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年7月31日)
減価償却費	46,106千円	85,001千円
のれんの償却額	17,468千円	18,708千円